

舞鶴引揚記念館・平和祈念展示資料館 合同展示キャラバン in 丸の内



令和4年度 Innovate MUSEUM 事業

ラーゲリからのメッセージ シベリア抑留の記憶をつなぐ

● 2023年
2月22日(水)
～3月5日(日)

● 10時～20時

- ・2/22は12時から
- ・日曜日・祝日は18時30分まで

● 入場無料

● KITTE 地下1階
東京シティアイ
パフォーマンスゾーン



KITTE（東京都千代田区丸の内二丁目7番2号）アクセス



- ・JR 東京駅 丸の内南口より
徒歩約1分
- ・JR 京葉線東京駅 徒歩約3分
- ・JR 有楽町駅 徒歩約6分
- ・丸ノ内線東京駅 地下道直結
- ・千代田線二重橋前<丸の内>駅
徒歩約2分
- ・有楽町線有楽町駅 徒歩約6分
- ・都営三田線大手町駅 徒歩約4分



【お問合せ】舞鶴引揚記念館 0773-68-0836

MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM

主催：舞鶴引揚記念館 共催：平和祈念展示資料館（総務省委託）

後援：東京都教育委員会

舞鶴引揚記念館について

第二次世界大戦後、旧ソ連に抑留された人々と外地からの引き揚げの労苦を伝える資料館として、抑留体験者などを中心に全国の方々からの寄附を受け昭和63年(1988)に設立されました。舞鶴へ上陸を果たした引揚者およそ66万人のうち7割がシベリアからの生還者でした。館内の展示には、シベリアから日本の家族へ送られたはがきや日誌などが展示されています。平成27年(2015)には収蔵資料の中から570点がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内
<https://m-hikiage-museum.jp> →



収容所

ラーゲリからのメッセージ シベリア抑留の記憶をつなぐ

昨年末に公開された映画『ラーゲリより愛を込めて』で描かれたシベリア抑留。

多くの抑留者を迎えた舞鶴にある舞鶴引揚記念館から発信する出張展示です。

「岸壁の母」が息子に宛てた葉書、つらい抑留生活を和歌に綴った「白樺日誌」、抑留体験画など舞鶴引揚記念館が所蔵する「ユネスコ世界記憶遺産」登録資料を中心に紹介します。

白樺日誌



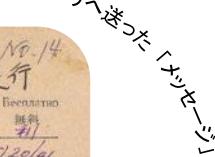
スケッチブック



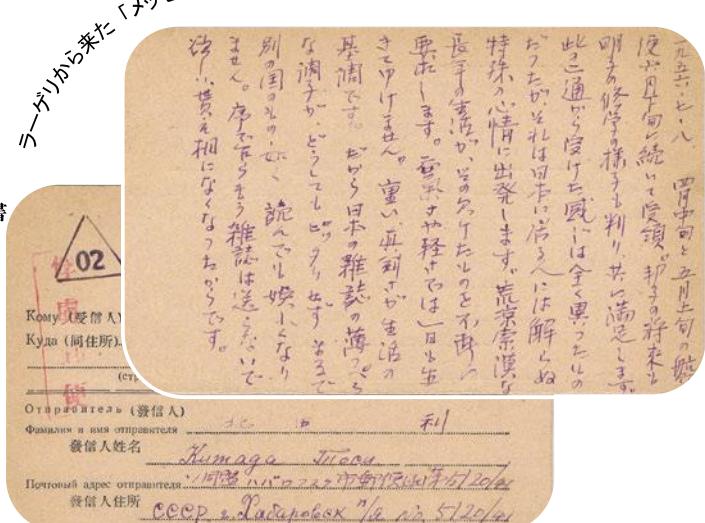
回想記録画（木内信夫画）



ラーゲリへ送った「メッセージ」



俘虜用郵便葉書



共催



収容所で
抑留者が手作りした白樺の食器

飢えに耐えかねた抑留者が
袖の部分とパンを交換したコート



平和祈念展示資料館所蔵の資料もご覧いただけます。

平和祈念展示資料館(総務省委託)

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
TEL 03-5323-8709 <https://www.heiwakinan.go.jp> →



うるまの島の引き揚げ

～もう一つの引き揚げ～



沖縄久場崎「戦後引揚者上陸碑」

1/21(sat)



4/16(sun)

2023

鶴見引揚記念館

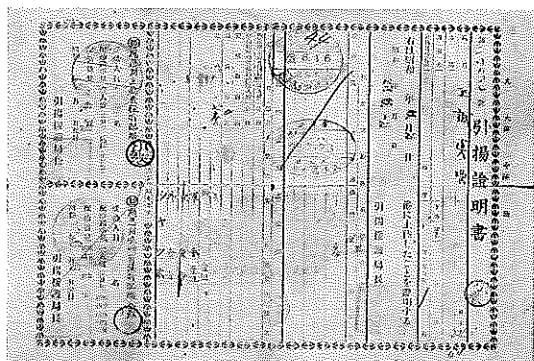
令和4年度第4回企画展

第二次大戦終結後、日本各地に引揚港が設置されました。その中で日本の施政権下からアメリカ軍の統治下へ移管された沖縄でも外地からの引き揚げがおこなわれ、戦後の復興へのあゆみが始まりました。

沖縄の古語で美しい島を意味する“うるま島”は地上戦によって一面焼け野原になりました。その焼け野原となつたうるま島では引揚者が外地から持ち帰った技術などが戦後復興の一躍を担つたともいわれます。ゼロからのスタートを切つた戦後の沖縄が再び“うるま”の島へとなつた原点である沖縄県中城村の久場崎の紹介をおこないます。

沖縄出身者の引揚證明書

シベリア抑留から生還し、舞鶴港へ上陸した沖縄出身者の引揚證明書。引揚證明書とは外地からの引揚者であることを証明するもので、戦後のさまざまな手続きなどで必要な書類となつた。外地から日本各地の引揚港へ上陸した沖縄出身者の多くは陸路で長崎県佐世保へ移動後、船で沖縄へと帰郷した。



戦後引揚者上陸記念碑

沖縄本島中部に位置する中城村久場集落の海岸に1996年に中城村が戦後50年事業で建てた記念碑。引揚船が陸地へ向かう様子をモチーフにしたもので、3本の柱は、引揚者の「不安」「喜び」「希望」を表しています。

休館日：毎月第3木曜日（8月と祝日を除く）、12月29日～1月1日
※2023年4月1日より、休館日が次のとおり変更となります※
毎週水曜日（祝日の場合、その翌平日）、12月29日～1月1日

入館料

	一般	学生
個人	400円(200円)	150円(75円)
団体	300円(150円)	100円(50円)
共通券	600円(300円)	200円(100円)

【共通券】舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

【割引制度】身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額（料金表の（）内の金額）になります。

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

開館時間：午前9時～午後5時まで
(最終入館は午後4時30分まで)

TEL: 0773-68-0336

FAX: 0773-68-0370

<https://m-hikiage-museum.jp>

舞鶴引揚記念館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM

